

BE KOBE BE KEIO

2021 年 6 月 30 日発行
発行人：橋本敦子
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 625
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

6 月例会

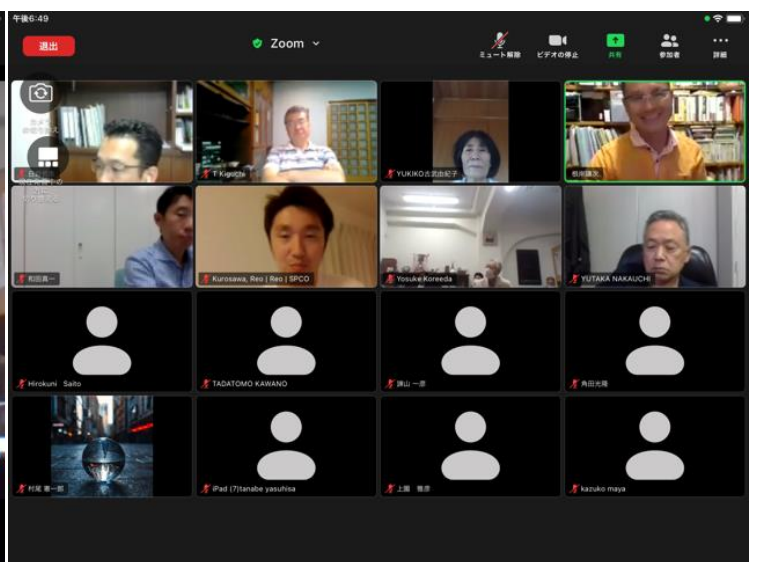
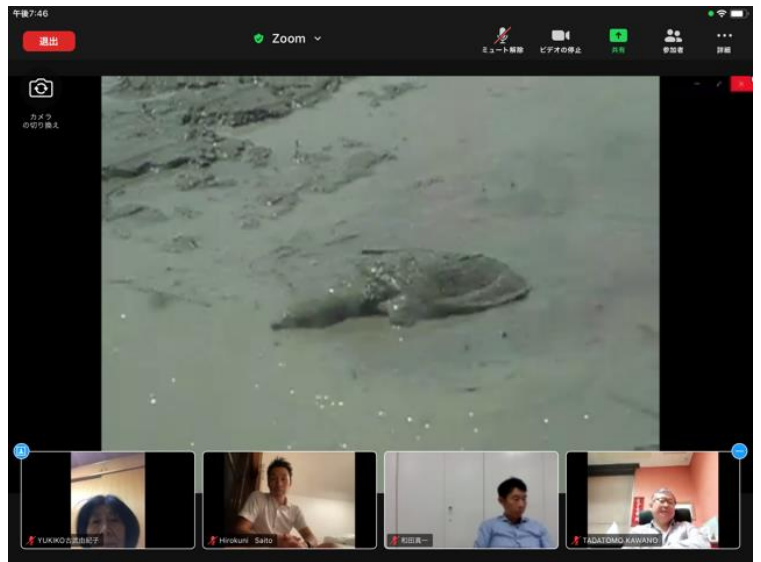
前回例会（2020 年 11 月例会）からしばらく時間が空き、6 月 11 日（金）に倶楽部ルームとオンラインで約 20 名の各参加者とを ZOOM で繋ぎ、6 月例会は初めてのリモート開催となりました。今回は、是枝幹事と同期の豊岡エコファーマーズ所属、塾員の根岸謙次さん（平成 6 年・環境情報学部卒）を講師にお招きし、「コウノトリと下町ロケット」というテーマでお話をして頂きました。

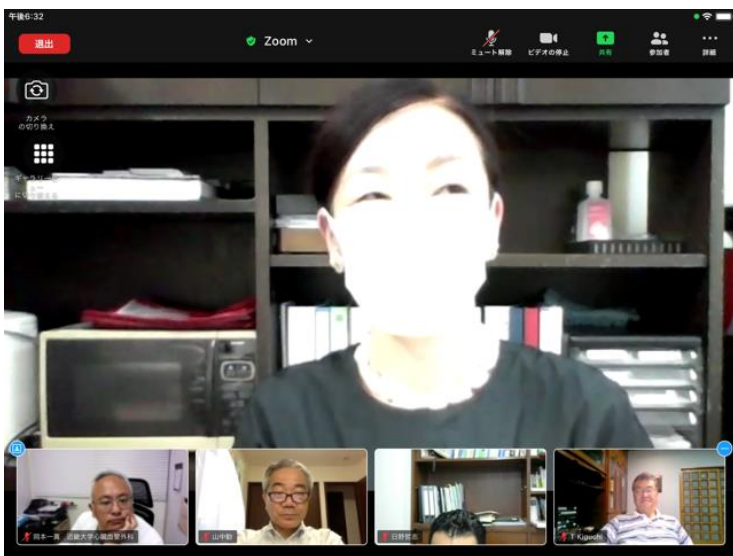
根岸さんのご経歴は、大学卒業後に百貨店、化学メーカーにて勤務。その後はご家族のご事情もあり、地元豊岡に戻り経験もない農業をスタートしたとのこと。そこから約 20 年、コウノトリでさえも住める環境作り＝農業を使わない農業を営んでおられます。

兵庫県の県鳥でもあるコウノトリ。動物食（どじょう・ふな・バッタ・蛇）で、全長はおおよそ 110 cm ほど。一時は農業が普及したことで餌となる虫・生き物も田んぼから減り、それに伴いコウノトリの数も激減しました。写真で見せて頂きましたが、長く赤い脚がとても綺麗ですね。コウノトリは成鳥すると声帯が退化して、鳴かずカタカタと音を出す。これがハタを織る音と似ていることから鶴の恩返しのモデルはコウノトリ説も、とのお話でした。街に住んでいるとあまり触れることのない農業と生物界の食物連鎖の関係性。根岸さんのお話から、例えば湛水によりミミズが増えることで雑草が発芽しない（結果、除草剤の使用を減らす）、カエルを育てることで害虫を食べてくれる（結果、殺虫剤の使用を減らす）等、こういったことから保たれる生物の多様性、自然との付き合い方・共存、さらには農業に与える影響を改めて知る機会となりました。一方で、農業も時代を反映するように新技術が導入されており、GPS 情報を利用した農作業機械の自動走行やドローンを使った肥料散布、スマホを使った作業管理、結果的に重労働が減り作業効率もアップ。まさに下町ロケット的な各種マシンの開発は、長きに渡って農業に従事されている方も感心するような役割を担っているとのこと。2025～2030 年には農業従事者の大量リタイアが予想されているとのことで、何か他人事ではないような使命感を感じる機会ともなりました。最後には、この「コウノトリ育む農法」で作られたお米の購入手段も根岸さんよりご案内を頂きました。豊岡では給食でも導入されているそうです。

さて、まだまだコロナウイルスの感染拡大は予断を許さない中、今回初めての試みの ZOOM 例会となりました。各人の時間的・地理的な都合、制約がある中、参加が比較的容易で、参加者それぞれの顔と名前も一致しやすく、開催内容によっては今後も大変良い参加ツールとなるのではと感じることができました。

黒澤 玲央（平 17 商）





編集部企画 川柳大会

前号で募集しておりました川柳ですが、会員の皆様に多数のご応募をいただきました。ありがとうございます。いずれも良作揃いで、読んでいて笑ってしまいました。個人的に、浅沼先生の「無病では～」と「腹8分～」が好きです（笑）。皆様、楽しんでください。

神戸慶應倶楽部 浅沼清之先生（昭36経）の作品

コロナそと 福はうちーと 豆まけり
無病では 話題に欠ける 同窓会
土地家屋 あれど我が家で 居場所なし
貴重品 いつも見つかる 場所に置く
日に3度 熱を測りて マスクかな
お年玉 不要の孫は 訪ね来ず
囲碁弟子の 孫が手を抜く 口惜しさよ
腹8分 残りの2分は 薬飲む

神戸慶應倶楽部 古武由紀子先生（昭40文）の作品

口元を マスクで覆い 若返り
閉じ籠り お腹と顔を そっと撫で
咳一つ 電車の中の 目が怖い
挨拶が コロナ.コロナで 耳にタコ
コロナ禍で 出不精笑う 無精者
人違い マスクの上の 目が笑う

神戸慶應倶楽部 角田光隆先生（昭60経）の作品

川柳を 考える時間が 出来ました
(例会無し・飲み会なし・出張無し・来客無し・時間だけあり)

慶應の娘 吉川瑞代先生（塾関係者）の作品

旦那さん コロナじゃなくても ディスタンス
飛沫飛ぶ 言い訳つけて 顔そむけ
コロナより ステイ旦那が 病原菌

会員だより

《新入会の挨拶》

この度は歴史と伝統ある神戸慶應倶楽部に入会させて頂き誠にありがとうございます。
平成元年（1989年）商学部卒 木村剛（きむら つよし）と申します。よろしくお願ひ致します。

昨年4月より野村証券（株）神戸支店に勤務しており、バブル期入社世代が少なくなっていく中、若手と共に営業の仕事に携わっています。

学生時代は、応援指導部に所属し、各種体育会の応援活動、慶應義塾の各種行事のお手伝い等を行っていました。現在加入している三田会は応援部三田会（常任幹事）、神宮ネット裏三田会です。趣味はマラソン（自己ベスト3時間22分）です。宜しくお願ひ致します。

木村 剛（平1商）

《新入会の挨拶》

2020年度法学部法律科を通信で、卒業いたしました松永和美と申します。神戸で生まれ現在も神戸に住んでおります。平成7年1月7日、震災の10日前に神戸の中央区橋通で、社会保険労務士の個人事務所を開業いたしました。現在は中央区多聞通で社労士、FPなどの仕事を続けながら、関学の非常勤講師をしています。

趣味は旅行で、特に海外旅行が好きですが、次に旅行できる日をひたすら待ちながら、色々妄想しています。元々、慶應通信を始めたのは、娘ロス（長女の結婚）を癒すためでしたが、いつの間にか沢山の仲間ができ、支えていただきながら5年かかり卒業致しました。家族は、夫と娘2人（一人は結婚しました）で、在学中に孫ができました。まだまだ、学びたいことが沢山あります。これから神戸慶應倶楽部の方々と交流しながら色々教えていただくことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

松永 和美（令2法）



《新入会の挨拶》

皆様、初めまして。平成5年に法学部法律学科を卒業しました、笠原秀彦（かさらはひでひこ）と申します。小学校は長田区の神戸市立池田小学校です。中学校は神戸市立西代中学校です。高校は兵庫県立長田高校です。ここまでですと、「めっちゃ長田ネイティブ」の様相を呈しておりますが、平成7年の震災以降は西区の学園都市の住人になっています。

在学時には、法律学研究会（塾法会）と卒業アルバム委員会に所属しておりました。現在は長田区の東尻池の国道沿いで不動産業をしています。4年ほどほぼ休みなく働いてきまして、少し心に余裕も出来て来ましたので、参加させて頂きました。今後とも宜しくお願ひ致します。

笠原 秀彦（平5法）

新入会員

- ・木村 剛 (平1商)
野村證券株式会社
応援指導部／マラソン
東京都立立川高
- ・松永 和美 (令2法)
松永和美事務所
海外旅行・テディベア収集
兵庫県立明石西高
- ・笠原 秀彦 (平5法)
株式会社長田中央商会
兵庫県立長田高
- ・岩井 玄太郎 (平19経)
岩井玄太郎公認会計士事務所
GreenGrass／スポーツ観戦・テニス
愛知 滝高
- ・石井 英行 (平6経)
東京海上日動火災保険
体育会ヨット部／ヨット・映画鑑賞
慶応義塾高

事務局からのお知らせ

～6月例会講師：根岸謙次さん栽培のお米購入先について～

6月11日に初めてZoomで開催しました6月例会については、行き届かない点が多々ありましたが、講師の根岸さんから興味深いお話を伺い、また、久しぶりに皆さまの顔を拝見することができ、お陰さまで良い例会になりました。

今後もZoomでの例会開催を視野に入れてまいりますので、近隣の方も、遠方の方もご都合の合う際はぜひご参加いただけましたら幸いです。

さて、根岸さんはコウノトリ育む農法でお米を栽培されています。例会の際などに「購入したい」とのお声がありましたので、販売店をご案内いたします。

[販売店]

ライスショップハセガワ (高砂市)

◇根岸さんのお米 (精米加減を選ぶことができます)

<https://gohan.shop-pro.jp/?pid=35024698>